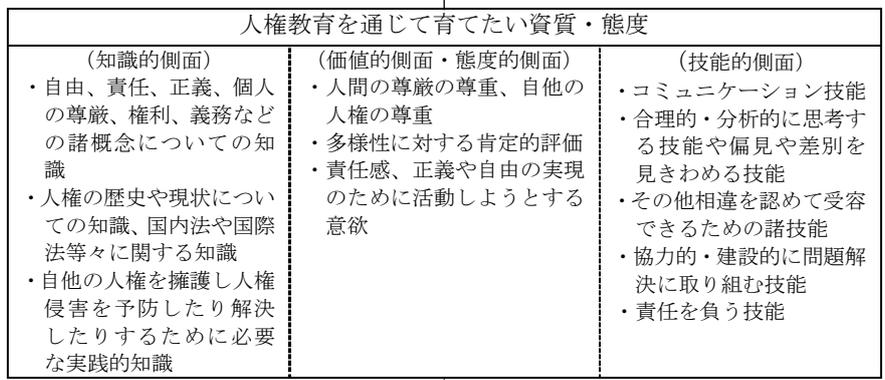
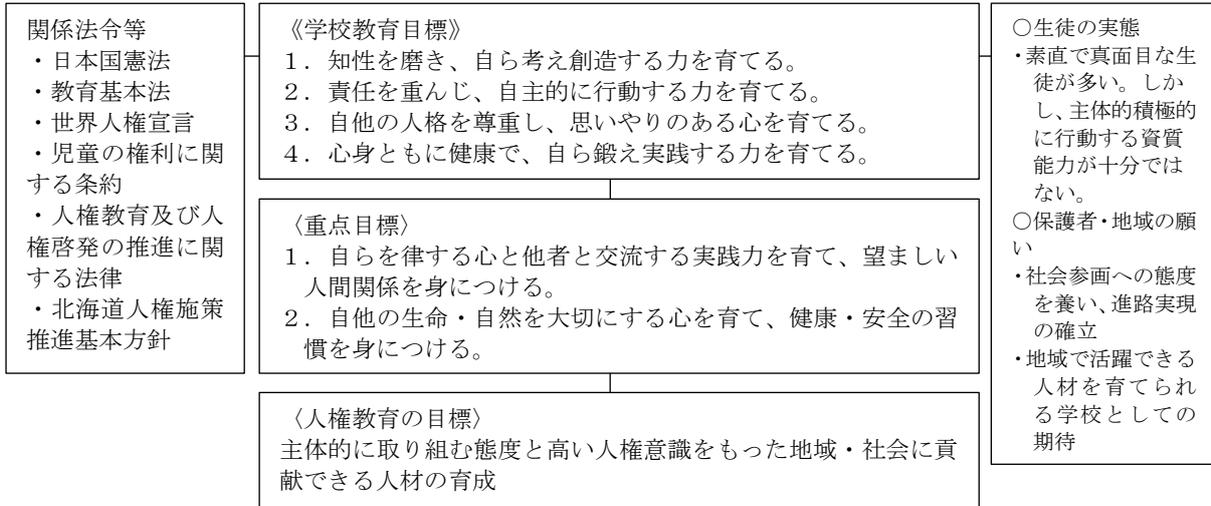
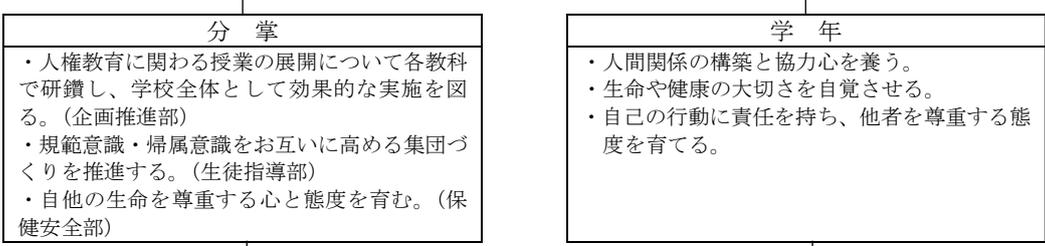


校訓 真心 賢く、強く、優しく



人権について学ぶ(内容)

- ・女性
- ・子ども
- ・高齢者・外国人
- ・アイヌの人々
- ・HIV感染者
- ・ハンセン病患者
- ・インターネットによる人権侵害
- ・いじめ



各教科等における目標				
主 な 教 科	国語及び外国語	様々な教材を通じて、人間としての生き方や考え、様々な異文化の理解を学び、自己及び他者の理解を深める。	総合的な探究(学習)の時間	・外部機関との連携を通じて、自尊感情の醸成や他者との受容的・共感的な人間関係を構築する。 ・構成的グループエンカウンターを通じて、個々の生徒のソーシャルスキルの向上を図る。
	地歴	歴史的観点から人権保障の歩みと現状について、考察する。人道的支援や経済協力における国際貢献について考えさせる。		
	歴史	人間としての在り方生き方について学び、平和で民主的な社会の形成者としての日本国民の自覚と資質を育成する。		
	公民	公正・協力・責任などの意味を理解させ、規律や秩序を守る態度を育成する。	特別活動	・ボランティア活動を通じて、社会に貢献する態度を育成する。(一人1ボランティア) ・諸行事に主体的に取り組みせ、自己肯定感及び自己有用感を高める。
	保健体育	家族・家庭の役割や意義について学ばせ、個人の尊重・育児や介護・虐待等の問題について考察する。		
	家庭	高度情報社会におけるモラルやセキュリティについて学ばせ、人権を尊重する態度を養う。		
情報				

【達成状況の把握】
 ・生徒アンケート調査、いじめアンケート調査及び道教委の学習状況等調査等により、生徒の意識の変容等を把握する。